

第2学年 国語科学習指導案

平成27年1月28日 3校時

1 単元名 「読んだお話ををしょうかいしよう」

教材名 「スーホの白い馬」

2 単元の目標

- ・場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像を広げながら読み、自分の感想の中心を捉えることができる。
- ・紹介するために大事な言葉や文を書き抜き、あらすじをまとめることができる。

3 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
○場面の様子を想像したり、声に出して読んだりして、お話を楽しんでいる。	○場面の様子や、登場人物の行動をもとに気持ちの変化に気付き、想像を広げながら読み深めることができる。	○複合語や比喻、逆接などの巧みな表現に気付いている。

4 単元について

(1) 単元設定の理由

本教材は今まで学習してきた文学的な文章と比べ、非常に長い作品である。そこで「読んだお話ををしょうかいしよう」を単元を貫く言語活動に設定することで、主題をとらえつつ物語のあらすじをまとめる力を育むに適した教材といえる。「紹介する」ということは、日常生活の様々な場面で要求される大切な言語活動である。登場人物の行動が、時間の経過を表す言葉によって順序立てて描写されていることで出来事や中心事実によって変化する登場人物の心情を考えやすく、また、複合語や比喻によって表現豊かに描かれている。こうした大事な言葉や表現に着目する中で物語の大体の流れを把握する指導を大切にして、読み深めさせたい。

(2) 教材文について

動物と人間の強く温かな絆が描かれ、馬頭琴の音色もあいまって、悲しくも美しい印象を残す物語である。これまでに児童が出会った物語にはあまりない、つらく心の痛む場面も出てくるが、児童によっては強く心に残る場面も異なるはずである。

また、世界には、その歴史・風土に応じてさまざまな文化が受け継がれている。その由来を伝える物語が存在していることを知ることは、世界各地に伝わる民話への興味にもつながるだろう。

5 研究主題に迫るために（学習活動の工夫）

(1) 4つの思考の型を取り入れた言語活動

(2) 「物語文を読む10の観点」の活用

(3) 馬頭琴の演奏の鑑賞、文化の理解

- ・モンゴルの生活や文化、馬頭琴の演奏を聞き、物語への想像を広げられるようにする。

(4) 音読の工夫

(5) 板書の工夫・学習環境の工夫

- ・学習の振り返りができるように、模造紙に書いて教室に掲示し、以前の学習内容を振り返ることができるようにする。

- ・本題材の情景を児童が浮かべられるように挿絵も黒板に掲示する。

(6) ワークシートの工夫

- ・一単位時間ごとにワークシートを用意し、考える場面を限定することで、児童が課題に取り組みやすくなるようにする。

6 学習指導計画（全9時間）

次	時	ねらい	主な学習活動と4つの思考	評価規準・方法
1	1	全文を読んで初発の感想を交流する。	<ul style="list-style-type: none"> ・物語が4つの場面から構成されていることをとらえ、中心人物が、スーホ、白馬であることをつかむ。 ・心に残ったことを中心に感想を書く。 	【関】 物語を想像しながら、心に残ったことを感想に書くことができる。 (発表・ワークシート)
	2・3	物語の大体をつかむ。	物語のあらすじをとらえよう <ul style="list-style-type: none"> ・10の観点に基づき、物語の構成を捉える。 ・スーホの人物像をとらえる。 	【読】 物語のあらすじをつかみ、ワークシートにまとめることができる。(ワークシート)
2	4	第一場面から白馬を大切にしているスーホの心情を読み取る。	白馬を大切にしているスーホの気持ちを見つけよう (第一課題) <ul style="list-style-type: none"> ・白馬を大切にしている気持ちが表れているところにサイドラインを引く。【選択】 白馬を大切にしているスーホの気持ちが1番強く表れているところを読み取ろう (第二課題) <ul style="list-style-type: none"> ・「これから先、どんなことがあっても、ぼくはおまえといっしょだよ。」という表現に着目し、白馬に対するスーホの気持ちの強さを読み取らせる。【選択】 (言葉の力)「どんなときでも」	【読】 白馬を大切にしているスーホの気持ちを読み取ることができる。 (発表・ワークシート)
	5	第二場面を読み、白馬をとられたスーホの心情を読み取る。	白馬が活躍している様子が分かる表現を見つけよう (第一課題) <ul style="list-style-type: none"> ・競馬に出た白馬が活躍している様子が分かる表現を見つける。 ・馬はとぶようにかけます。・でも先頭をはしっていくのは、白馬です。・スーホののった白馬です。【選択】 白馬をとられたスーホの気持ちが強く表れている文を読みとろう (第二課題) <ul style="list-style-type: none"> ・白馬をとられたスーホの気持ちが分かる表現を捉える。【選択】 (言葉の力)「ばかり」(助詞)	【読】 白馬をとられたスーホの気持ちが強く表れている表現を読みとることができる。 (発表・ワークシート)
	6	第三場面を読み、白馬がスーホに強く会いたいと思う心情を読みとる。	殿様からやっとなげてきた白馬の様子を読み取ろう (第一課題) <ul style="list-style-type: none"> ・やっとなげてきた白馬の様子分かる文にサイドラインを引く。【選択】 白馬がスーホに強く会いたいと思う気持ちを見つけよう (第二課題) <ul style="list-style-type: none"> ・繰り返し表現について考える。【選択】 (言葉の力)「走って、走って走り続けて」	【読】 殿様から逃げてきた白馬の様子を読み取り、繰り返される表現から、白馬がスーホに強く会いたいと思う気持ちを読み取ることができる。 (発表・ワークシート)

	7 (本時)	第四場面を読み、心が通い合うスーホと白馬の気持ちを読み取る。	<p>白馬といっしょにいたいと強く思うスーホの行動を見つけよう (第一課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・白馬のことを思うスーホの行動や心情にサイドラインを引く。 <p>【選択】</p> <p>二人の心が通い合っていることがわかる表現を見つけよう。</p> <p>(第二課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情景描写から、その理由を類推することで心のつながりを想像して読む。【選択】【類推】 <p>「そんなとき、がっきの音はますますうつくしくひびき、聞く人の心をゆりうごかすのでした。」(言葉の力) 情景描写</p>	【読】情景描写から、二人の心が通い合い、絆が深まっている様子を読み取ることができる。 (発表・ワークシート)
3	8・9	「スーホの白い馬」を読んであらすじをまとめる	<p>お話のあらすじをまとめよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お話の大体をとらえ、主な出来事や登場人物の心情をあらすじにまとめる。 <p>読んだお話をしょうかいしよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お話のあらすじを出来事と自分が感じたことを中心に交流し、感じたことを話し合う。 	【読】時間の経過や順序に気をつけながら、お話の大体をつかみ、あらすじにまとめることができる。 (ワークシート・発表)

7 本時の指導 (7 / 9 時)

(1) 本時の目標

- ・情景描写から、二人の心が通い合い、絆が深まっている様子を読み取ることができる。

(2) 展開

	学習活動	指導上の留意点	評価規準
導入	1 前時までの学習活動を振り返る。 2 本時の課題を知る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">白馬といっしょにいたいと強く思うスーホの行動を見つけよう (第一課題)</div>		
	3 第四場面を微音読する。 白馬のことを思うスーホの行動や心情が表れている文にサイドラインを引く。【選択】 C 白馬がおしえてくれたとおりに… C どこへいくときも、この馬頭琴をもって… C 自分のすぐわきに白馬がいるような気が…	○スーホの気持ちを考えながら微音読させる。	

<p>展開</p>	<p style="text-align: center;">二人の心が通い合っていることがわかる表現を見つけよう（第二課題）</p> <p>4 第四場面の文から、スーホに対する白馬の気持ちが分かる表現を選びサイドラインを引く。</p> <p style="text-align: right;">【選択】</p> <p>C そんなにかなしまないでください。 C いつまでもあなたのそばにいられますから C がっきの音はますますうつくしくひびき、 聞く人々の心をゆりうごかすのでした。</p> <p><言葉の力> 情景描写 場面の情景描写から登場人物の心情が分かることを知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>そんなとき、がっきの音はますますうつくしくひびき、聞く人々の心をゆりうごかすのでした。</p> </div> <p>スーホの気持ちと馬頭琴の音（白馬の気持ち）に結びつきがあることを理解する。【類推】</p>	<p>○白馬の気持ちがわかる表現を考えさせる。</p> <p>○楽器の音がますます美しくなり、人々の心が揺り動かされるのがなぜか疑問を投げかける。</p> <p>○指示語(そんな)がスーホの心情をさしていることをおさえる</p> <p>○スーホの思いと比較して考えることで、馬頭琴が呼応していることを感じさせる</p>	<p>【読】情景描写から、二人の心が通い合い、絆が深まっている様子を読み取ることができる。 (発表・ワークシート)</p>
<p>まとめ</p>	<p>5 本時の学習の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習を振り返りながら、第四場面を音読する。 <p><言葉の力> 情景描写 場面の情景描写から登場人物の心情が分かることを知る。</p> <p>6 次時の学習のめあてをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次時の学習では、お話のあらすじを書くことを知り、次時の活動に見通しをもつ。 	<p>○スーホと白馬の心が通い合い、いつまでも一緒にいたいと願う気持ちを想像しながら音読させる。</p>	